

# 浦添市教育情報化推進計画

(平成29年度～平成33年度)

浦添市教育委員会

平成29年 7月

## 目 次

<b>1 計画策定の基本的な考え方</b>	1
(1) 計画策定の趣旨	
(2) 計画の期間	
(3) 計画の推進及び進行管理	
(4) 推進体制（組織図）	
<b>2 浦添市教育情報化推進計画（平成24～28年度）の成果と課題</b>	4
(1) 成果	
(2) 課題	
<b>3 浦添市教育情報化推進計画（平成29～33年度）の基本方針</b>	8
(1) 国・県の重点目標（平成29～33年度）	
(2) 県の基本重点項目	
(3) 本計画の目標	
(4) 市の重点目標（平成29～33年度）	
(5) 市の基本重点項目	
(6) 市の基本重点項目と具体的な取り組み	
(7) 市が目指すこども像（平成29～33年度）	
(8) 達成目標	
<b>4 施策の展開</b>	10
(1) ICT活用によるわかる授業の展開	
(2) 児童生徒の情報活用能力の育成	
(3) 校務の情報化による児童生徒と向き合う時間の確保	
<b>5 教育委員会としての役割</b>	11
(1) 組織的な取り組み	
(2) ICT機器整備の充実	
(3) 情報セキュリティーの強化	
(4) 情報セキュリティーに対する考え方	
(5) ネットワーク利用規程	
<b>6 浦添市教育情報化推進計画（平成29～33年度）</b>	13

## 1 計画策定の基本的な考え方

### (1) 計画策定の趣旨

我が国では、平成 13 年に高度情報通信ネットワーク社会形成基本法が施行され、数々の国家戦略が打ち立てられ、取り組まれてきた。

文部科学省は、2020 年度に向けた教育の情報化に関する総合的な推進方策である「教育の情報化ビジョン」（平成 23 年 4 月）を取りまとめ、21 世紀を生きる子どもたちに求められる力と教育の情報化が果たす役割、情報教育の充実、学びの場における ICT の活用、特別支援教育における ICT の活用、校務の情報化の在り方、教員への支援の在り方、学校教育の情報化の着実な推進に向けた取り組みが示された。平成 25 年 6 月には、「第 2 期教育振興基本計画」が閣議決定され、確かな学力を効果的に育成するため、ICT の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新の推進など、ICT の活用等による新たな学びを推進していくことが示された。平成 26 年 3 月には「学びのイノベーション事業」実証検証報告書で具体的な実践事例が示された。さらに、平成 28 年 7 月には、「2020 年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」の内容が取りまとめられ、「教育の情報化加速化プラン」が策定された。

本県においては、平成 27 年 6 月に「おきなわ I C T 総合戦略ビジョン編(平成 26 ～ 33 年度)」が策定され、学校教育における ICT の活用は、児童生徒の理解を促す上でも重要であり、教員の ICT 活用指導力の更なる向上を図る必要があると示された。また、教育の情報化の基盤である教育用コンピュータ、校内 LAN、超高速インターネット等の整備、新しい学習形態への対応を視野に入れた ICT 環境のあり方を検討していく必要性も示された。

沖縄県教育委員会においては、平成 24 年に策定した「沖縄県教育情報化基本計画(平成 24 ～ 33 年度)」で、教育の情報化を総合的かつ一体的に具現化するために、学校教育分野、社会教育分野、教育行政分野ごとに示されている施策の基本方向に基づき、取り組むべき内容及び目標が示された。さらに平成 29 年度には「沖縄県教育情報化推進計画(平成 29 ～ 33 年度)」で、進捗管理を行うアクションプランが示された。

浦添市では、「第 1 次浦添市情報教育推進計画(平成 15 ～ 17 年度)」、「第 2 次浦添市情報教育推進計画(平成 18 ～ 20 年度)」、「第 3 次浦添市情報教育推進計画(平成 21 ～ 23 年度)」の計 9 年間にわたり教育への情報通信技術(以下「ICT」という)利用促進に努めた。特に、イントラネットや無線 LAN 等のインフラ整備及び、ネット回線の高速化、電子黒板や地デジテレビの配備が進み、先生方への研修会等が充実したことで、学校 ICT 化の促進や、ICT を活用した授業の質的向上が図られた。平成 24 年度からは「浦添市教育情報化推進計画(平成 24 ～ 28 年度)」を策定し、電子黒板や大型地デジテレビと併せ、電子教科書と実物投影機等の活用促進、タブレット端末を活用した双方向の授業を推進し、児童生徒の表現力に一定の成果が現れた。また、小学校に校務支援システムを導入し、教師の事務作業の軽減を図り、子供と向き合う時間を確保できる環境の整備を行うことができた。

「浦添市教育情報化推進計画(平成 29 ～ 33 年度)」では、重点目標を新たに見直し「ICT の効果的な活用による新たな学びの創造や学習環境の最適化の構築」とした。そして、これまでの重点項目である「ICT 活用によるわかる授業の展開」や「児童生徒の情報活用能力の育成」、「校務の情報化による児童生徒と向き合う時間の確保」と整合性を図った。

具体的には、児童生徒が主体的に学習するための電子黒板及びタブレット端末の整備、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善や個に応じた学習の充実を目的とした研修会の提供、中学校への校務支援システムの整備と安定運用、情報モラル・情報セキュリティ教育について家庭・地域と連携した学校内の体制づくりの推進、等を通して、中長期的に情報活用能力を高め、新たな学びに対応する授業の質を保証し、学習環境の最適化を推進する。また、2020 年度から小学校で必修化されるプログラミング教育の推進に向けた体制づくりにも備えていきたい。

## (2) 計画の期間

平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 ヶ年とする。

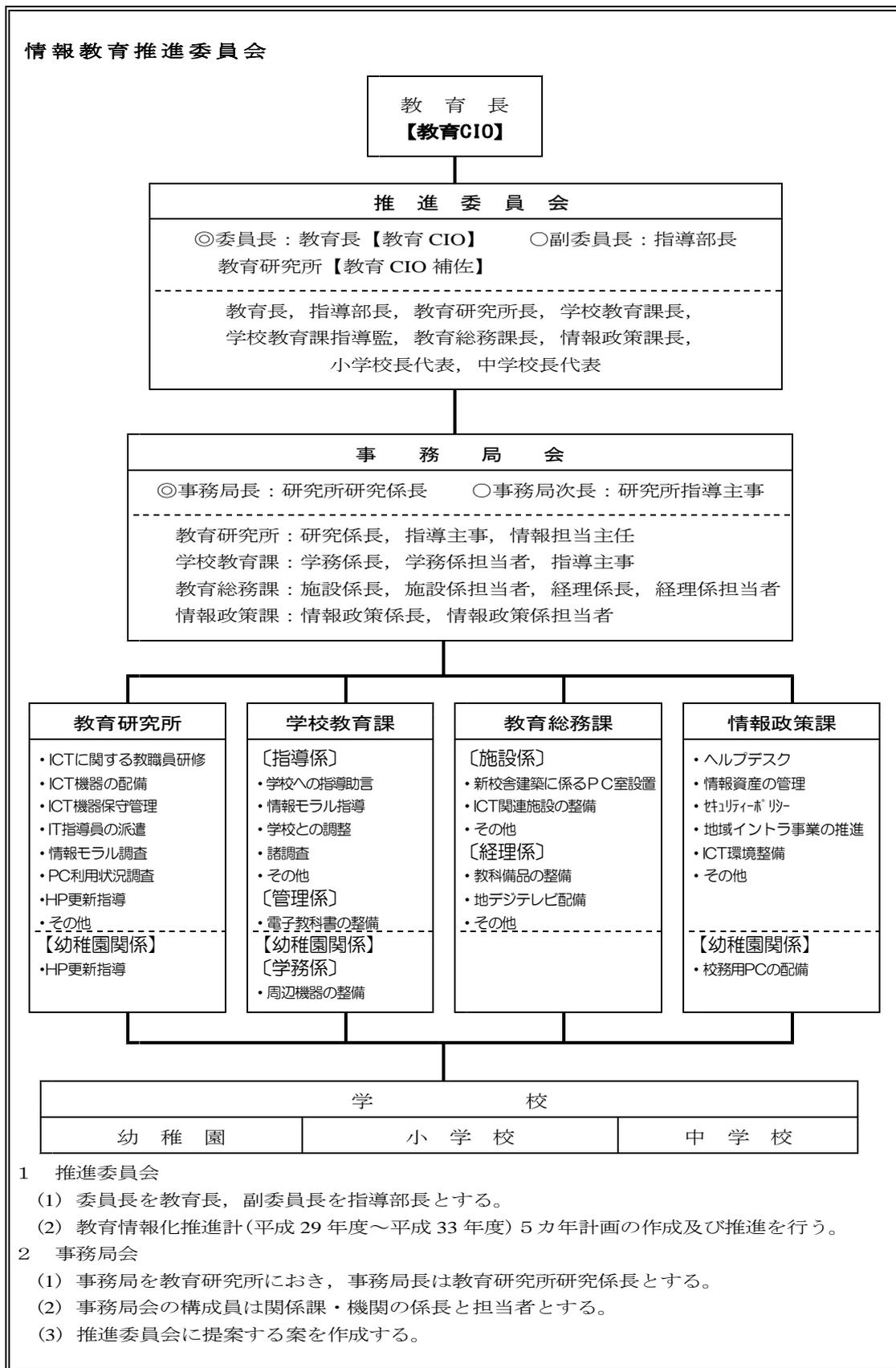
## (3) 計画の推進及び進行管理

毎年度初めと年度末に情報教育推進委員会を開催し、進捗状況や課題点等について情報共有し、本計画の円滑な推進に努める。

各学校で本計画を推進するために、リーフレットを作成して周知を図る。

ICT の分野は、技術の進歩が目覚しく、教育の情報化を推進するにあたっては、取り組み内容が時代の進展に即し、より効果的・効率的なものになるよう留意する必要がある。そこで、本計画については、国及び県の動向や情勢の変化等に応じて適宜見直しを行う。

#### (4) 推進体制（組織図）



## 2 浦添市教育情報化推進計画（平成24年～28年度）の成果と課題

浦添市教育情報化推進計画では、以下のⅠ～Ⅲの視点で、情報教育を推進してきた。

- Ⅰ 児童・生徒に適切な情報活用能力を身につけさせ ICT を活用した学習活動ができる能力（情報モラルを含む）を身につけさせる。
- Ⅱ 教員が日常的に ICT を活用して、「わかる授業」が展開できる能力（情報モラルとセキュリティに関する指導を含む）と意識を持たせる。
- Ⅲ 教員の校務の軽減化・効率化を図ることで、児童・生徒と向き合う時間の確保と教育の質の向上を図る。

### (1) 成果

#### ① ICT機器の整備

- ・教育用 PC の配備（小：1875 台 中：1080 計 2955 台）を行い、4.03 人/台となり、国の目標値 3.6 人/台に近づいてきた。
- ・実物投影機を市内小中学校普通学級数分（H25 年 385 台導入）配備できた。
- ・平成 27 年度は、「こどもが主体的に学習するための ICT 機器整備事業」でモデル校 3 校（浦添小学校、宮城小学校、港川中学校）にタブレット端末 317 台、ボード型電子黒板とパソコン等 75 台を導入できた。
- ・タブレット端末（iPad）総数 461 台導入できた。

#### ② 校内LANの整備

- ・校内無線 LAN（10/100Mbps）を市内 16 小中学校で安定運用できた。

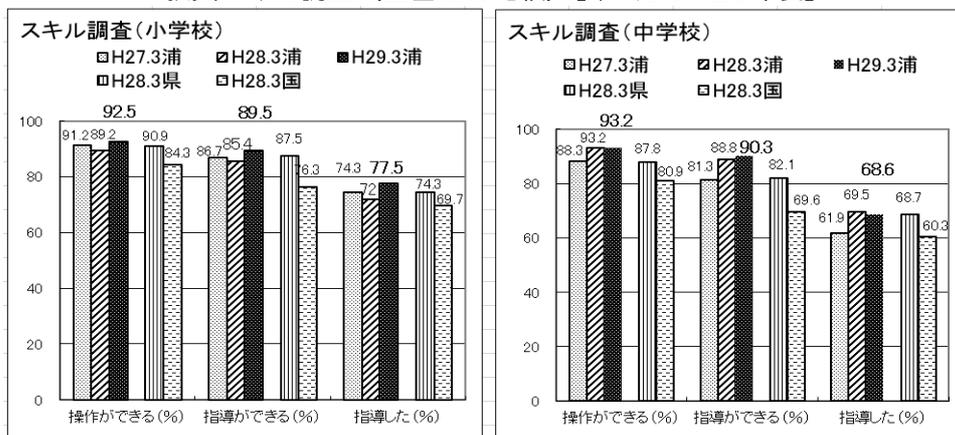
#### ③ 各学校の ICT 機器の保守管理

- ・IT 指導員が定期的に小中学校を巡回し、授業での ICT 機器活用のサポートや機器メンテナンス等を行うことにより、トラブルの未然防止やウイルス対策等の対応が迅速にできた。

#### ④ ICT を活用した学習活動の展開

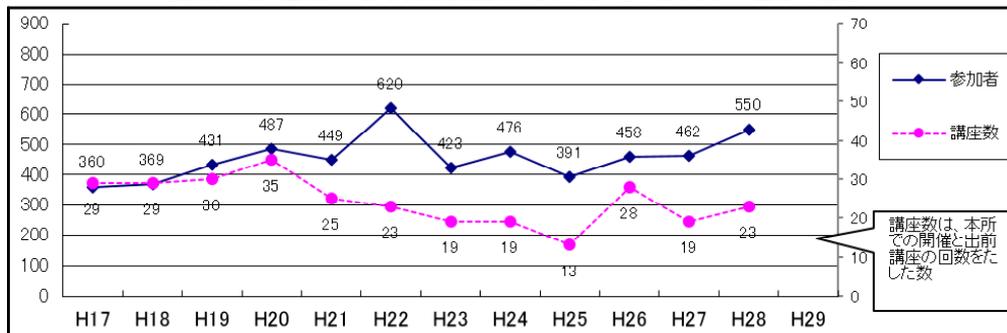
- ・ICT 機器活用研修会を通して、授業時に普通教室で実物投影機と連結した地デジテレビの活用、電子教科書の提示等、普通教室でのコンピュータ利用率が増加してきた。またタブレットを協働学習ツールとして授業で活用している教師が増加してきた。

教員スキル調査（全国との比較）【平成26～28年度】

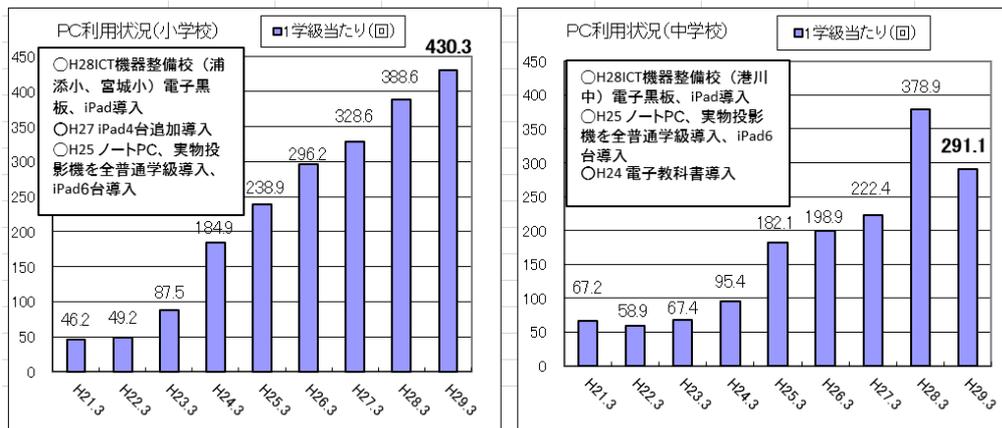


- ・事務職員や管理職対象の ICT 機器活用講座や全職員対象の夏期 ICT 講座，依頼があった学校への出前講座，先生方個々のニーズに応じた IT 指導員によるミニミニ講座などが実施できた。
- ・平成 28 年度は浦添市 ICT エバンジェリストを委嘱し，タブレットの積極的活用，学校内で職員への情報提供，浦添市教員向けの公開授業が実施できた。

夏期コンピュータ講座参加者の推移【平成17～28年度】

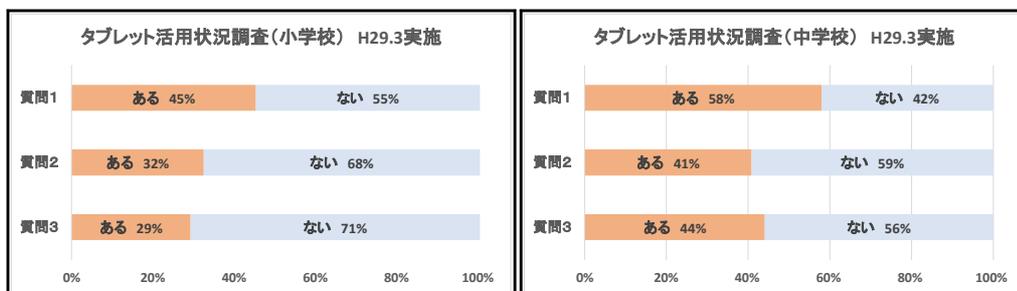


授業におけるPC利用状況（PC教室+普通教室）



タブレット活用状況調査

質問1 あなたは、これまでに、授業でiPad(アイパッド)を使ったことがありますか。  
 質問2 あなたは、これまでに、授業でiPadのロイロノートを使ったことがありますか。  
 質問3 あなたは、これまでに、iPadを使って発表したことがありますか。



⑤ 情報モラル教育の充実

- ・情報モラル教育アンケートを小学校3年生から中学校3年生全児童生徒を対象に実施できた。同学年比較及び同集団の経年比較をし、児童生徒の現状を踏まえた情報モラル指導に活かすことができた。

⑥ 教育コンテンツの充実

- ・電子教科書は、教科書改訂に伴い、小学校 H27 年度、中学校 H28 年度に再整備したことで、先生方が授業において普通教室で積極的に活用することができた。
- ・教育用ソフト（ラインズ、Edumall）を小学校に配備し、活用することができた。
- ・各種コンテンツを教育研究所 Web ページ「きょうざいのお部屋」で公開し、先生方に活用させることができた。

⑦ IT 指導員（ICT 支援員）の学校への派遣

- ・IT 指導員を各学校へ派遣し、ICT を活用した授業支援ができた。
- ・ICT 支援員をモデル校に派遣し、電子黒板及びタブレット端末の利活用が効果的に実施できた。

(平成28年度：サポート総数 5786時間)

【授業及び教師への直接的支援分】	H28 年度
○授業支援	582 時間 (10.1%)
○教師支援	687 時間 (11.9%)
○校内研修・講座の担当	777 時間 (13.4%)
※ 夏期ICT講座総受講数・・・550名 ・夏期ICT講座数（研究所開催）・・・10講座 ・夏期校内研出前講座数・・・13校 ※ 勤務校でのミニ講座（1名から対応）・・・1429名（626回）	
【PCの保守等の間接的支援】	H28 年度
○授業支援のための PC 等の保守	2624 時間 (45.4%)
○ PC 等の修繕	440 時間 (7.6%)
○その他(先生方との打ち合わせ等)	676 時間 (11.7%)
○他課業務の応援	0 時間 (0.0%)

⑧ 浦添市の情報教育の普及・発展

- ・学校ホームページについては、ほとんどの小中学校で積極的な更新が行われており、複数の教員が更新している学校も増えてきた。地域や保護者からのアクセス数も増えており、学校からのお知らせや、児童生徒の活動の様子等、積極的な情報発信を行うことができた。
- ・市内小中学校の情報モラルアンケート結果を、教育研究所 Web ページに公開し、地域、保護者へ情報を提供できた。
- ・県内の自治体単位で初の取り組みとして、「浦添市 ICT フォーラム 2017」を開催し、浦添市の情報教育を発信できた。

⑨ 校務の軽減化を図る取り組み

- ・学校メールは、roundcube の保守契約を締結し、安定運用を図ることができた。
- ・小学校校務支援システムを平成 28 年度に導入（スズキ校務シリーズ）し、先生方の校務の負担軽減を図ることができた。中学校校務支援システムは平成 29 年度の導入に向けて、計画を進めている。

## (2) 課題

### ① ICT機器の整備

- ・先生方に教育用 PC を配備しているが、Windows7 機種不足により Vista を利用している先生方がいる。
- ・「こどもが主体的に学習するための ICT 機器整備事業」でモデル校 3 校には、タブレット端末及び電子黒板は導入済みであるが、他の学校へ早急に機器整備をする必要がある。

### ② 校内 LAN の整備

- ・1 教室で児童生徒一人一台タブレット端末を活用するためのアクセスポイントの整備が必要である。

### ③ 各学校の ICT 機器の保守管理

- ・ファイルサーバー (NAS) のデータの一部が欠損することがあった。定期的なアラート (警告音) のチェックを行う必要がある。

### ④ ICT を活用した学習活動の展開

- ・タブレット端末を活用できる教師が増える一方、各学校でタブレット端末の台数不足が学習活動に支障をきたしている。

### ⑤ 情報モラル教育の充実

- ・情報モラルアンケートの結果を踏まえ、児童生徒への学年に応じた情報モラル教育の充実が必要である。
- ・保護者向けの情報モラル研修会等の実施や、各家庭での「利用の約束」の徹底が必要である。

### ⑥ 教育コンテンツの充実

- ・教育用ソフトの見直しと、授業で活用できるタブレット端末のアプリの紹介が必要である。

### ⑦ IT 指導員 (ICT 支援員) の学校への派遣

- ・授業で IT 指導員を効果的に活用しているが、IT 指導員に依存している状況があるため、今後の教師の自立が課題である。

### ⑧ 浦添市の情報教育の普及・発展

- ・幼稚園のホームページは、平成 28 年度より市の HP で運用し、幼稚園の先生方には HP 更新研修会を行っているが、幼稚園間で更新の頻度に差がある。

### ⑨ 校務の軽減化を図る取り組み

- ・「校務支援システム」利用のための、個人情報保護などの情報セキュリティー対策が必要である。

### 3 浦添市教育情報化推進計画（平成29～33年度）の基本方針

#### (1) 国・県の重点目標（平成29～33年度）

多様化・高度化する社会へ対応できる人材の育成

#### (2) 県の基本重点項目

- ① 教科指導におけるICTの活用促進
- ② 情報教育の体系的な推進
- ③ 情報モラル・情報セキュリティ教育の推進
- ④ 校務の情報化の推進
- ⑤ 教員のICT活用能力の向上
- ⑥ 学校におけるICT環境整備
- ⑦ 特別支援教育における情報化の推進
- ⑧ 教育委員会・学校における情報化の推進体制強化

#### (3) 本計画の目標

グローバル化や情報化、国際化の急速な進展で、今日の社会が著しく変化している。そして、このことは今後ますます複雑で多様化し、高度化することが予想されている。そこで国・県は「多様化・高度化する社会へ対応できる人材の育成」を重点目標に掲げ、今を生きる児童生徒が自らの可能性を最大限に発揮し、これからの時代をたくましく切り開き、生きる力を培い、自己実現を図ることを目指している。

本市においてもこのことを踏まえ、中長期的に児童生徒の情報活用能力を高め、ICT活用による新たな学びに対応した授業の質を保証し、校務の効率化などを図り学習環境の最適化を推進することを通して、「ICT機器の効果的な活用による新たな学びの創造や学習環境の最適化の構築」を重点目標に定め取り組むことにした。

子どもに「最新の情報機器を使いこなす力」「自分で考え、判断する力」「自分の考えを豊かに伝える力」を身につけさせ、「タブレット端末を活用し、自分の考えを表現できる児童生徒」を目指す。

#### (4) 市の重点目標（平成29～33年度）

ICTの効果的な活用による新たな学びの創造や学習環境の最適化の構築

#### (5) 市の基本重点項目

- ① ICT活用によるわかる授業の展開
- ② 児童生徒の情報活用能力の育成
- ③ 校務の情報化による児童生徒と向き合う時間の確保

(6) 市の基本重点項目と具体的な取り組み

**重点項目 1 ICT活用によるわかる授業の展開**

目標：主体的・対話的で深い学びの実現のために、ICTを日常的に活用し、わかる授業を構築する。

具体的な取り組み：

- ① **わかりやすい教材提示の工夫**  
授業の中での日常的なICTの活用（電子黒板、デジタル教科書、実物投影機等）
- ② **知識の定着・技能の習得**  
ドリル教材、フラッシュ教材等を活用した基礎基本事項の定着
- ③ **協働型・双方向型授業の推進**  
タブレット端末、授業支援ソフトの活用による思考の交流

**重点項目 2 児童生徒の情報活用能力の育成**

目標：これからの社会を生きぬくための情報活用能力を育成する。

具体的な取り組み：

- ① **体系的なコンピュータリテラシーの教育課程への位置づけ**  
タブレット端末を活用した調べ学習・発表の計画と実施
- ② **情報モラル・情報セキュリティ教育の充実**  
学校と保護者との情報共有の強化

**重点項目 3 校務の情報化による児童生徒と向き合う時間の確保**

目標：校務の効率化により、教師と児童生徒が向き合う時間を確保する。

具体的な取り組み：

- ① **校務支援システムの活用**  
日常的な活用による校務の効率化と指導要録・出席簿の電子化
- ② **情報の共有による校務の効率化**  
地域イントラネット内「きょうざいのお部屋」による教材の共有

(7) 市が目指すこども像（平成29～33年度）

タブレット端末等を活用し、自分の考えを表現できる児童生徒

- ① 「最新の情報機器を使いこなす力」を身につける
- ② 「自分で考え、判断する力」を身につける
- ③ 「自分の考えを豊かに伝える力」を身につける

(8) 達成目標

タブレット活用状況調査	対象：市内全児童生徒 調査時期：毎年度3月	H31年度		H33年度	
		小学校	中学校	小学校	中学校
授業で、タブレット端末を操作することができる。		80%	90%	100%	
授業で、協働学習アプリを活用し、自分の意見をまとめることができる。		70%	80%	100%	
授業で、タブレット端末を活用して、自分の考えを表現することができる。		70%	80%	100%	

## 4 施策の展開

### (1) ICT活用によるわかる授業の展開

#### ① わかりやすい教材提示の工夫

- ・実物投影機と地デジテレビが連動した教材の提示を促進する。
- ・電子黒板と連動したデジタル教科書の積極的活用に務める。
- ・地デジテレビと電子黒板、通常の黒板を使い分け、教師の提示資料と児童生徒のノートやワークシートが連動した活用を促進する。

#### ② 知識の定着・技能の習得

- ・地域イントラネットを利用したデータサーバー内のドリル教材、フラッシュ教材等を活用した授業を通して、基礎基本の徹底を図る。
- ・特別支援教育において、有効なアプリを活用したタブレット端末の利活用を促進する。

#### ③ 協働型・双方向型授業の推進

- ・主体的・対話的で深い学びの学習過程でタブレット端末、授業支援ソフト等のICTを効果的・積極的に活用する。
- ・タブレット端末及び電子黒板を活用した協働学習型・双方向型授業を推進する。
- ・教員の「児童生徒のICT活用を指導する能力」を向上させるための研修会の充実を図る。

### (2) 児童生徒の情報活用能力の育成

#### ① 系統的なコンピュータリテラシーの教育課程への位置づけ

- ・教科指導におけるICT活用を推進するために、各学校において、各教科の年間指導計画に、指導のねらいに沿ったICT活用方法を位置づける。
- ・タブレット端末を活用した調べ学習や、発表に向けての計画及び実施を通して、児童生徒の表現力の育成に努める。

#### ② 情報モラル・情報セキュリティ教育の充実

- ・情報モラル・情報セキュリティ教育に関する教員の指導力向上を図るため、情報モラル・情報セキュリティ教育に関する研修の充実を図る。
- ・学校・保護者が児童生徒の実態等を共有し、外部関係機関等と連携した研修会の実施を促進する。
- ・情報モラル・情報セキュリティ教育について家庭・地域と連携した学校内の体制づくりを促進する。

### (3) 校務の情報化による児童生徒と向き合う時間の確保

#### ① 校務支援システムの活用

- ・統合型校務支援システムを導入し、日常的な活用による校務の効率化を図る。

- ・校務支援システムを活用し，出席簿管理，成績処理，通知票作成，指導要録の一体化の安定運用を図る。
- ・メールシステムの安定運用を図る。

## ② 情報の共有による校務の効率化

- ・新学習指導要領に沿った教育用コンテンツの充実を図る。
- ・デジタルコンテンツやアプリ等を，地域イントラネット内「きょうざいのお部屋」で紹介し，その活用方法についての情報を提供する。
- ・「全国学力・学習状況調査」や「沖縄県学力到達度調査」，「標準学力検査」等の過去問を，地域イントラネット内「きょうざいのお部屋」で公開する。

## 5 教育委員会としての役割

### (1) 組織的な取り組み

- ・教育長を「教育 CIO」として，教育研究所，学校教育課，教育総務課，情報政策課が連携し，各小中学校長を「学校 CIO」として，意図的，計画的，組織的，体系的に情報教育を推進する。
- ・校内情報化推進計画に情報教育の取り組みを位置づけ，情報教育の着実な実施を図る。
- ・各学校において教育の情報化を促進するため，教育情報化推進リーダー（浦添市 ICT エバンジェリスト）を育成し，市全体としての組織的活動に務める。
- ・教科指導における ICT 活用を促進するために，ICT の効果的な活用方法について情報収集・提供を行う（研究協力員報告集・タブレットを活用した実践事例集）。
- ・ICT を活用した事例発表等を通して，市全体への活用充実を支援する。
- ・平成 32 年から小学校へ新たに導入されるプログラミング教育の充実をめざした先行的な取組を推進する。
- ・学校 Web ページの安定運用と積極的更新の支援を推進する。

### (2) ICT 機器整備の充実

- ・教育用 PC は，「第 2 期教育振興基本計画」に示されている目標（児童生徒 3.6 人あたり 1 台）を整備水準の目安とし，タブレット端末を含めた整備を進める。
- ・全小中学校に設置場所を限定しない可動式コンピュータ 40 台 1 セットを整備する。
- ・全小中学校の普通教室に電子黒板を整備する。
- ・全ての普通教室において校内 LAN の整備を行うとともに，無線 LAN のよりよい環境整備を推進する。
- ・ネットワークを効果的に活用できるよう，超高速インターネットの安定運用を図る。
- ・ICT 機器のトラブル未然防止及び，故障への迅速な対応を図る。

### (3) 情報セキュリティの強化

- ・教育用 PC に環境復元ソフトを導入し、ウイルス対策と情報漏洩防止に務める。
- ・児童生徒が安心・安全なインターネット環境で学習が行えるように、有害情報のフィルタリングソフトやウイルス対策ソフトの適切な運営を推進する。

### (4) 情報セキュリティに対する考え方

- ・本市のネットワーク利用規程を踏襲する。
- ・ネットワーク利用に関しては、校長をはじめ全職員で情報の重要性や必要性について十分共通理解を図る必要がある。その際、本市のネットワークの構成及び教育委員会から示された規程を踏まえ、各学校の情報教育の目標に照らし合わせた規程を策定し、運用する。

### (5) ネットワーク利用規程

- ・各学校の情報安全管理に関する規程は、県教育委員会が策定した IT 安全管理マニュアル及び沖縄県個人情報保護条例等を参考に、以下の内容を含むものとする。

#### 【浦添市教育委員会規程】

(平成25年4月策定)

- ・浦添市立小中学校インターネット利用におけるガイドライン
- ・浦添市立小中学校電子データの取り扱いに関するガイドライン
- ・浦添市立小中学校コンピュータウイルス対策基準
- ・浦添市立小中学校コンピュータウイルス対策マニュアル

#### 【市内小中学校策定】

- ・浦添市立小中学校における教育用ネットワークの管理運用規定
- ・浦添市立小中学校個人情報保護方針

## 6 浦添市教育情報化推進計画（平成29～33年度）

推進計画の内容		H29年度 (2017年)	H30年度 (2018年)	H31年度 (2019年)	H32年度 (2020年)	H33年度 (2021年)
ICT 環境 の 整備	①教育用 PC の整備 (リース契約)	小学校	PC室でノートPCを活用 (H27年度導入)		PC室へ新規ノートPCの 配備(H32導入)	
		中学校	校内LAN 整備事業 普通教室 ノートPC (H25導入)		校内LAN整備事業 普通教室 新規ノートPC (H30年度導入)	
			PC室でデスク トップPCを活用 (H25導入)		PC室へ新規ノートPCの配備 (H30年度導入)	
		②タブレット端末の整備	子どもが主体的に学習するた めのICT機器整備事業 1校1セット(42台)+普通学級数 (H27～30年度導入)		タブレット端末の積極的活用の推進	
		③校内 LAN の整備			設備の維持・管理 無線アクセスポイントの強化	
		④学校ごとに光ケーブル接続 高速インターネット接続			光回線接続の維持	
		⑤安全なネットワーク環境 の維持・整備			設備（地域イントラ含）の保守・点検 各学校フィルタリングソフトの運用・更新	
	⑥周辺機器の整備			整備目標を設定して取り組む		
	⑦電子教科書 (学校教育課)		小学校：H23年度導入 有効活用 H32年度改訂			
			中学校：H24年度導入 有効活用 H33年度改訂			
教員 の ICT 指導 力の 向上	①夏期 ICT 機器活用講座 の実施			教師が必要とする研修講座の提供（継続）		
	②校内研修等における IT指導員の派遣		各学校を巡回しながら派遣（継続） 一括交付金活用		研究所待機 ヘルプデスク 対応	
	③情報化を推進する校内体制 の整備			学校CIO（校長）、CIO補佐（研究主任or情報主任） を中心とした組織運営		
	④情報教育推進リーダーの育成			情報主任研修会の実施（継続） 浦添市ICTエバンジェリスト及び研究協力員の育成		

推進計画の内容		H29年度 (2017年)	H30年度 (2018年)	H31年度 (2019年)	H32年度 (2020年)	H33年度 (2021年)
ICT 教育 の 充 実	①小中学校発達段階に応じた 情報教育の実践	各学校：計画に基づいた実践 研究所：情報収集及び実践事例の紹介				
	②各教科等における ICT 機器活用の促進	各学校：計画に基づいた実践 研究所：情報収集及び実践事例の紹介				
	③授業で活用できる データベースの運用	地域イントラ「きょうざいのお部屋」の充実（継続）				
	④学習に効果的なアプリ の推進	各学校：実践及び検証 研究所：情報提供				
	⑤プログラミング教育の実践	浦添市ICTエバンジェリスト：先行実践 研究所：情報提供			全小中学校で実践	
	⑥学習支援人材の活用	IT指導員及びICT支援員の活用				
	⑦ ICT を活用した家庭学習 の取組の推進	学習支援ソフトの活用（継続）				
	⑧情報モラル・情報セキュリ ティ教育の推進	各学校：児童生徒の実態に応じた指導及び家庭との連携 研究所：調査及び各学校支援				
校務 の 情 報 化	①教師用 PC の整備 (1人1台)	整備目標を立てて、段階的に整備				
	②学校 Web ページの更新	各学校：更新作業の充実（継続） 研究所：HP管理及び研究所事業等の更新				
	③メール及びグループウェア の整備	メールシステムの安定運用 市教委と学校間での掲示板の活用				
	④校務支援システムの運用	全小中学校での安定運用と活用研修会の実施				
	⑤校務用 PC の整備 (リース契約)	教育用と兼用 リース切れPCの活用				
	⑥図書管理用 PC の整備 (リース契約)	図書室でデスク トップPCを活用 (H25導入)	図書室へ新規デスクトップPCの配備 (H30年度導入)			